

A. 主な動き

1. 内政

新たな最高会議選挙法の採択

・17日、最高会議は、最高会議議員450名中366名の賛成をもって、小選挙区・比例代表制による混合システム、比例代表制の足切りライン5%、ブロックによる参加禁止等を規定する新たな最高会議選挙法を採択。

・17日、リトヴィン最高会議議長(国民党)は、同選挙法が各政党及び各最高会議議員による支持を得たため、社会全体による支持も得るだろう旨発言。トメンコ同副議長(「バチキフシナ」党)は、同選挙法は同分野の専門家及び野党の要求の多くが勘案された旨評価。

ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追

・14日、ヴラセンコBYT議員(ティモシェンコ前首相弁護グループ代表)は、「ウクライナ統一エネルギー・システム」社関連のティモシェンコ前首相に対する刑事訴追による取り調べは違法であるとし、同日、キエフ市シェフチェンコ地区裁判所に異議申し立てを提出した旨発言。

・14日、税務警察は、「ウクライナ統一エネルギー・システム」社関連のティモシェンコ前首相に対する4件の刑事訴追を1件に統合した旨発表。

・15日、最高会議は、ティモシェンコ前首相の釈放を目的とした刑法・刑事訴追法改正案に関する野党発案の修正案を否決。これに対し、BYT議員は、抗議の意を表明して最高会議議場を退出。同日、最高会議は、ヤヌコーヴィチ大統領発案の刑法・刑事訴追法改正案を採択。

大統領の動き

・15日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ポーランドで行われたコモロフスキ・ポーランド大統領及びヴルフ独大統領との会談後、2009年に開始されたティモシェンコ前首相に対する刑事事件は政治から独立した司法の問題である旨発言。

・17日、ヤヌコーヴィチ大統領は、オデッサ州を訪問、新たに設立されたオデッサ港の海運コンプレックス「Euroterminal」及びサッカー・スタジアムの改修状況等を視察。

2. 経済

マクロ経済

・14日、国家統計局は、2011年1～9月期の貿易赤字を対前年同期比75.4%増の95億ドル、商品の輸出額を37.8%増の499.5億ドル、輸入額を42.7%増の595億ドル、天然ガスの輸入を対前年同期比68.5%増の103億ドル(輸入額全体の17.4%)と発表。

・15日、アリエールIMF駐ウクライナ代表は、来年のウクライ

ナ経済の成長遅延について、来年のウクライナのGDP成長率を3.5～4.0%、インフレ率は10%を下回る旨報告、2011年のGDP成長率は約5%になるであろう旨発言。

・16日、アザーロフ首相は、2011年10月のウクライナのGDP成長率を7.2%、1～10月のGDP成長率見込みを5.3%と予測。

IMF

・15日、アリエールIMF駐ウクライナ代表は、対露ガス価格交渉後にIMFミッションが継続される可能性を示唆、同交渉の最終的な結果まで待つことに合意した旨発言。

・17日、アリエールIMF駐ウクライナ代表は、ウクライナとの交渉において、家庭のガス価格値上げが重要な点ではなく、2012年の予算のパラメーターも含め、他の多くの課題が議論されるだろうとし、2012年の予算に関しての共通理解が得られておらず、思っていたような構造的改革の進捗がなされていない旨発言。

金融・バンキング

・14日、中央銀行は、外貨準備高に中国元を含める計画を行っている旨、中央銀行代表団の中国訪問後に発表。

・14日、社会政策省は、高級品税の導入を開始するとし、同改正案のドラフトを準備しており、裕福な人々への税負担を増やすため、大きな家・航空機・ヨット・宝石・毛皮などに適用されるだろう旨発表。

・16日、アリエールIMF駐ウクライナ代表は、ウクライナの外貨準備高に中国元を含めることについては注意深い分析を要するとして警告、中国元は自由に交換可能な貨幣ではなく、外貨価値の問題が生じ得る旨発言。

・18日、ヤヌコーヴィチ大統領は、税の単純化に関する法律の改正案に署名、同法は単一税に関して異なるレートを導入しており、個人の起業家は収入や従業員数に応じて4グループに定義される旨発表。

農業

・15日、農業政策・食料省は、11月4日時点で対前年同期比31.2%増の5,406万トンの穀物が収穫された旨発表。

・16日、プリシャジニク農業政策・食料相は、2011～2012市場年(2011年7月～2012年6月)における穀物輸出货量見通しを従来の2,400万トンから2,700万トンに引き上げた旨発言。

・16日、農業政策・食料省は、7月1日(今市場年開始日)から11月4日までの間の穀物輸出を595万トン、今年中の穀物輸出を800～1,000万トンの見通しと発表。

3. 外政

グリシチェンコ外相のイスラエル訪問

・13日、グリシチェンコ外相は、イスラエルを訪問、リーベルマン外相と会談。両者は自由貿易圏創設交渉に関し協議。また、グリシチェンコ外相は、ペレス大統領とも会談、ヤヌコーヴィチ大統領のイスラエル訪問の準備状況につき意見交換。

ヤヌコーヴィチ大統領のポーランド訪問

・15日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ポーランドを訪問しコモロフスキ大統領及びヴルフ独大統領と会談。ウクライナ・EU連合協定に関しては、政治的側面のみが残っており、ウクライナの将来的EU加盟に関する表現ぶりが主たる問題である旨発言。

ウクライナ・モンテネグロ自由貿易協定

・16日、ウクライナ政府は、クリューエフ第一副首相兼経済発展・貿易相にモンテネグロとの自由貿易協定への署名権限を付与。18日、同第一副首相兼経済発展・貿易相とカヴァリチ・モンテネグロ経済相との間で署名が実施。

ウクライナ・EU連合協定交渉

・17日、欧州議会外務委員会は、EUウクライナ連合協定が早期に、できれば年内に署名されるようあらゆる努力をするべきとの勧告を可決。但し、10月27日の欧州議会決議と同様、ティモシェンコ前首相に対する有罪判決が同協定交渉の署名と批准の障害となっているとしており、ウクライナに対し法の支配原則を尊重するよう恣憑。

4 . 防衛

・15日、エジェリ国防相は、カザフスタンを訪問、ジャクシベコフ・カザフスタン国防相と会談し、軍事協力に関する合意に署名、2012年の両国間軍事協力プログラムを承認。

・17日、ウクライナ政府は、2009年12月に署名した5.5億ドルの軍事用品の供給のための契約の枠組みにおいて、最初のAn-32航空機をイラクに派遣。今後、イラクへは更に5機の航空機が供給される予定であり、2011年12月に次の軍用航空機が提供される見込み。

(了)